

岡崎市内大型店販売動向調査結果〔18店舗〕（平成30年3月分）

対前年同月比0.4%増。土曜日1日増も起因し、3ヶ月ぶりに前年実績を上回る！

岡崎市内の主要スーパー・百貨店18店舗を対象とした「大型店販売動向調査（平成30年3月分）」の調査結果がまとまった。それによると販売総額は68億1,975万円、対前年同月比0.4%増となった。平均気温が平年より高く推移したことで鈍化した需要が刺激され、また、土曜日の1日増も起因し、僅かではあるものの3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

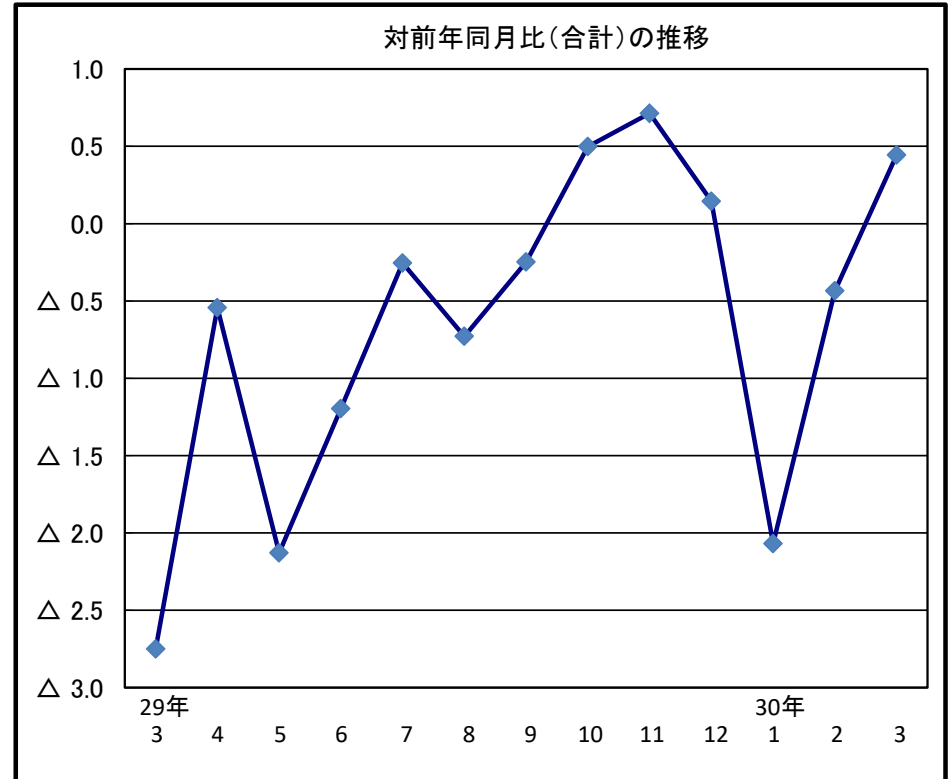
部門別の結果をみると、主力の「衣料品」は、気温上昇が春物衣料の需要を一気に高めたことに加え、天候不順が続いた前年同月の落ち込み分の反動により、12.1%の大幅増で6ヶ月ぶりにプラスとなった。また「食料品」は、桜の開花の早まりにお花見需要が前倒しとなり、惣菜が堅調に推移したものの、前年同月に及ばず、0.9%減で2ヶ月ぶりにマイナスとなった。

一方、全国では、スーパーは既存店ベースで前年同月比0.1%減で4ヶ月ぶりのマイナス、また、百貨店は0.1%増で4ヶ月ぶりのプラスとなった。

賃上げが20年ぶりに高水準になったことで、可処分所得の押し上げと今後の消費マインドの浮揚に期待がかかる。

<調査にご協力いただいた、ご担当者様の“生の声”>

- ☆比較的暖かい日が続き、春物衣料の動きが大変良かった。住居関連品においても、季節商品が仕掛けどおりに売れ、良い結果が出ている。食料品は、お客様の購買意欲が高く、3月度は全部門において前年クリアした。
- ☆衣料品は、冬物処分から春物への切り替えもスムーズにいった。食料品では、野菜の値段が下降し、買上点数が増加した。4月からの一部商品の値上げの影響が心配である。
- ☆生鮮食品は比較的順調だが、加工食品や雑貨は、ドラッグストア等の競合店の影響を受けて、伸び悩んだ。
- ☆季節イベントでプロパー商材の販促を積極的に実践し、衣料品を中心に昨年対比超えと好調。月末は桜まつりの影響で大幅に客数減となり、飲食に大きく響いた。
- ☆外気温の前年より早急上昇に伴い、屋外使用の季節商品の動きが活性化。併せて、期末の大口需要で、売上が伸長し、前年を大きく上回る。GWまでの商材確保がとにかく重要。春から夏への商材切替のタイミング精度が求められる。



	月	衣料品		身の回り品		家庭用品		雑貨		食料品		飲食・サービス		その他		合計	
		販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比
平成29年	3月	131,769	△ 16.6	58,653	△ 0.3	38,010	21.2	70,717	10.0	277,322	△ 7.1	63,381	△ 3.6	39,111	83.4	678,963	△ 2.8
	4月	149,102	△ 1.8	54,593	△ 2.8	38,697	23.4	52,036	△ 10.0	277,667	△ 2.8	64,402	4.4	27,732	18.1	664,229	△ 0.5
	5月	146,273	△ 3.2	55,299	0.7	42,185	26.8	53,705	△ 9.5	281,701	△ 4.5	60,787	△ 4.8	28,686	12.4	668,636	△ 2.1
	6月	144,233	△ 3.2	56,507	△ 0.4	36,090	3.6	53,255	0.9	278,420	△ 5.4	55,452	△ 8.0	35,548	81.8	659,505	△ 1.2
	7月	159,479	△ 2.4	64,760	△ 2.5	47,139	20.6	56,554	△ 11.0	275,730	△ 5.5	64,132	△ 1.5	42,357	87.9	710,151	△ 0.3
	8月	123,501	△ 2.8	57,990	1.8	43,298	16.7	54,937	△ 12.6	296,664	△ 3.3	62,793	△ 7.5	41,777	53.1	680,960	△ 0.7
	9月	124,744	0.8	49,104	0.2	36,868	26.2	47,747	△ 10.2	271,465	△ 4.2	55,285	△ 1.5	32,997	31.0	618,210	△ 0.2
	10月	155,605	△ 1.1	51,260	△ 1.2	37,029	21.9	49,530	△ 13.5	273,023	△ 2.4	56,104	△ 3.1	35,812	72.9	658,363	0.5
	11月	163,077	△ 2.8	54,235	△ 3.4	40,584	21.5	54,782	△ 11.0	285,214	△ 2.1	56,293	2.4	36,734	77.2	690,919	0.7
	12月	176,162	△ 2.2	67,400	△ 2.6	52,046	18.4	67,142	△ 15.7	315,754	△ 1.1	66,370	1.0	39,445	56.8	784,319	0.1
平成30年	1月	170,804	△ 2.0	67,219	1.1	42,850	18.6	56,111	△ 12.6	327,699	△ 5.8	66,666	△ 1.3	37,887	29.7	769,236	△ 2.1
	2月	106,582	△ 2.3	46,909	△ 0.8	32,710	2.8	48,304	△ 3.2	286,568	0.2	54,482	△ 0.3	28,057	1.8	603,612	△ 0.4
	3月	147,728	12.1	57,527	△ 1.9	38,329	0.8	55,626	△ 21.3	274,929	△ 0.9	67,986	7.3	39,850	1.9	681,975	0.4

【注】 1. 販売額の単位は万円。 2. 前年比の単位は%(△はマイナス)。 3. 平成26年12月以降、一部の調査対象店舗で売場構成の見直しがあり、部門別の前年比に大幅な差異があります。